



Nexus Data Broker の VXLAN ヘッダストリッピング

この章では、Nexus Data Broker (NDB) の VXLAN および IVXLAN ヘッドストリッピング手順について説明します。

この章は、次の項で構成されています。

- [Nexus Data Broker について – VXLAN および IVXLAN ヘッダストリッピング \(1 ページ\)](#)
- [このリリースで VxLAN および iVxLAN を外す PID のサポート \(2 ページ\)](#)
- [VXLAN および IVXLAN ヘッダストリッピングに関する注意事項と制限事項 \(2 ページ\)](#)
- [Nexus data broker 終了の設定 \(3 ページ\)](#)
- [VXLAN および IVXLAN ヘッダの設定例 \(5 ページ\)](#)

Nexus Data Broker について – VXLAN および IVXLAN ヘッダストリッピング

Nexus Data Broker (NDB) VxLAN および IVXLAN 終端により、スイッチは VxLAN および IVXLAN パケットの受信時にヘッダを削除できます。

NDB が VXLAN を受信した場合のシナリオは次のとおりです。

- スパインとリーフ間のテストアクセスポイント (TAP) ポートは、ACI ファブリックのファブリックリンクに配置されます。
- スイッチドポートアナライザ (SPAN) セッションが設定されるか、TAP が VXLAN オーバーレイネットワークに配置されます。

このリリースで VxLAN および iVxLAN を外す PID のサポート

Cisco Nexus 9364C プラットフォーム スイッチおよび 9300-EX、9300-FX、9300-FX2、9500-EX、および 9500-FX ライン カード。

VXLAN および IVXLAN ヘッダ ストリッピングに関する注意事項と制限事項

- VXLAN アンダーレイが V4 の場合、VXLAN ヘッダ ストリップがサポートされます。
- PTEP/VTEP を使用せずに VXLAN および IVXLAN ヘッダを削除できる必要があります。
- VXLAN ヘッダ ストリップはポートごとに有効になります。
- VXLAN および iVXLAN ストリッピングは、次の機能が有効になっている場合はサポートされません。
 - NV オーバーレイ
 - VN-segment-vlan
 - スタティック VXLAN トンネルおよび OFM 関連機能
 - MPLS ストリップおよびモード tap-aggregation
- VXLAN ストリッピングは、デフォルトの UDP 値が使用されている場合にサポートされません。
- ポートは、トンネリングされたパケットとトンネリングされていないパケットの両方を管理できる必要があります。
- レイヤ2スイッチポートモードトランクまたはレイヤ2POインターフェイスは、VXLAN ヘッダを削除できる必要があります。
- リダイレクトインターフェイスが出力ポートまたはアナライザポートを指している場合、Tap-ACL に `redirect` キーワードを含む適切な ACE が含まれていることを確認します。そうでない場合、パケットは同じ入力ポートにフラグディングされます。
- OFM は、標準 ISSU および LXC-ISSU の VXLAN ストリッピング機能を有効にします。
- カプセル化のタイプごとに1つずつ、最大2つのトンネルプロファイルをスイッチ上に作成できます。

VxLAN および IVXLAN ヘッダ ストリップの場合、以下のステートメントが該当します。

- インターフェイスは、内部パケットで Q-in-Q VLAN のスラップを許可します。

- パケット CRC が正しく実行されます。
- 内部パケットは、入力ポート ACL を使用してフィルタリングできます。

Nexus data broker 終了の設定

次の手順は、NDB for VXLAN の終了の概要を示しています。iVXLAN ヘッダストリップについても同じ手順に従います。



- (注) カプセル化トンネルタイプを VXLAN から IVXLAN に、またはその逆に変更するには、設定されたトンネルを `no encapsulation CLI` を使用して設定解除する必要があります。



- (注) 次の CLI がインターフェイスで VXLAN または IVXLAN のストリッピングを有効にするように設定されていることを確認します。

- 宛先
- `encapsulation vxlan`
- `flow terminate interface add e1/1`

上記の CLI のいずれかが欠落している場合、VXLAN または IVXLAN の除去は、CLI で指定されたポートでは発生しません。

手順

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|---|----------------------------|
| ステップ 1 | configure terminal 例： <code>switch# configure terminal</code> | グローバル コンフィギュレーションモードを開始します |
| ステップ 2 | feature ofm 例： <code>switch (config)# feature ofm</code> | 機能 ofm を有効にします。 |
| ステップ 3 | tunnel-profile profile-name 例： <code>switch(config)# tunnel-profile vtep_vxlan_term</code> <code>switch(config-tnl-profile)#</code> | スタティック VXLAN トンネルを有効にします。 |

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|--|---|
| ステップ 4 | encapsulation vxlan 例 : <pre>switch(config-tnl-profile)# encapsulation vxlan switch(config-tnl-profile)#</pre> | トンネルプロファイルの適切なカプセル化タイプを設定します。 |
| ステップ 5 | destination address 例 : <pre>switch(config-tnl-profile)# destination any</pre> | トンネルプロファイルに必要な宛先を設定します。 |
| ステップ 6 | flow terminate interface ethernet 1/1 例 : <pre>switch(config-tnl-profile)# flow terminate interface add e1/1</pre> | フロー条件リストに ethernet1/1 を追加します（フロー CLI が設定されていない場合）。 |
| ステップ 7 | terminate ethernet port 例 : <pre>switch(config-tnl-profile)# flow terminate interface remove e1/1</pre> | ethernet 1/1 ポートのみを削除します。 |
| ステップ 8 | （任意） add ethernet port 1/1 only 例 : <pre>switch(config-tnl-profile)# flow terminate interface e1/1</pre> | フロー終了リストを無効にし、ethernet1/1 のみを追加します。 |
| ステップ 9 | flow terminate interface ethernet port 1/2-5 例 : <pre>switch(config-tnl-profile)# flow terminate interface add e1/2-5</pre> | e1/2、e1/3、e1/4、e1/5 をフロー終端インターフェイスの既存のリストに追加します。 （注） フロー終了インターフェイスを追加する際、CLI は L2 ポートインターフェイスが存在するか、または有効になっているかを確認しません。たとえば、e1/10 は非ブレイクアウトモードです。CLI では、インターフェイス e1/10/1-4 でフロー終了リストを追加できます。e1/10 がブレイクアウトの場合、VXLAN ヘッダストリップ機能が機能します。 |

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|---------|--|---|
| ステップ 10 | flow terminate interface remove ethernet port 1/2 例： switch(config-tnl-profile)# flow terminate interface remove e1/2 | リストから ethernet1/2 を削除する場合、新しいリストは e1/1、e1/3-5 です。 |
| ステップ 11 | flow terminate interface ethernet port 1/10-11 例： switch(config-tnl-profile)# flow terminate interface e1/10-11 | 古いリストをこのリストに置き換えます。新しいリストは e1/10、e1/11 で、他のすべてのインターフェイスは削除されます。 |
| ステップ 12 | flow terminate interface add port 100-110 例： switch(config-tnl-profile)# flow terminate interface add po100-110 | ポートチャネル 100-110 を古いリストに追加します。新しいリストは e1/10-11、po100-110 です。 |
| ステップ 13 | flow terminate interfaces 例： switch(config-tnl-profile)# no flow terminate interface | すべてのフローを削除するには、プロファイルからインターフェイスを終了します。 |

VXLAN および IVXLAN ヘッダの設定例

次に、VXLAN および IVXLAN ヘッダのストリッピングの例を示します。手順は IVXLAN でも同じです。

```
switch(config-tnl-profile)# show run ofm
show running-config ofm
feature ofm
tunnel-profile vxlan1
encapsulation vxlan
destination any
flow terminate interface add port-channel101
flow terminate interface add Ethernet1/1
tunnel-profile vxlan2
encapsulation ivxlan
destination any
flow terminate interface add port-channel101
flow terminate interface add Ethernet1/1
switch(config-tnl-profile)#
switch(config-tnl-profile)# show tunnel-profile
Profile : vxlan1
Encapsulation : Vxlan
State : UP
Destination : Any
Terminate Interfaces : 2
Terminate List : port-channel101 Ethernet1/1
Profile : vxlan2
Encapsulation : iVxlan
```

```
State : UP
Destination : Any
Terminate Interfaces : 2
Terminate List : port-channel101 Ethernet1/1
switch(config-tnl-profile)#
```